

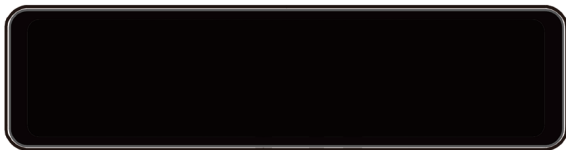
ドライブレコーダー機能付

10.88インチ デジタルルームミラー

【 取付説明書 】

MDR-G013A / MDR-G013B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■取付について	1
■安全上のご注意	2
■付属品	5
■作業の進め方	5
■本体の動作確認	6
■本体の取付	6
■配線イメージ	8
■配線方法	9
■リアカメラの設置例	10
■取付時のご注意	11

取付について

■お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、「取付説明書」をよくお読みの上、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
(サポート:support@maxwin.jp)
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー(プラス)、ニッパー、ベンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。


安全上のご注意(必ずお守りください)


説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますのでご注意ください。


正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。


■守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。


 **禁止** してはいけない
内容です。


 **実行** しなければならない
内容です。


 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定される内容を示します。

 **本機はDC12/24Vマイナスアース専用です**
12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や事故の原因となります。

 **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください**
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。










 **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

 **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

-  **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
-  **エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバック動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際に、エアバックシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
-  **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対止めてください**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
-  **本機を分解したり、改造しないでください**
事故、火災、感電の原因となります。
-  **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
-  **万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変なおいがるなどの異常が起きた場合は、直ちに使用中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
-  **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください**
ショートにより、火災、感電の原因となります。
-  **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください**
テアリングシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
-  **付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください**
増設シガーソケットに接続する場合は、シガーソケットの容量オーバーにならないようご注意ください。容量がオーバーすると、発火や故障の原因となります。

安全上のご注意(必ずお守りください)



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される内容を示します。



本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



しっかりと固定できないところや振動の多いところやリアウィンドウに張り巡らされた熱線への取り付けは避けてください

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。



湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。



コードが金属部に触れないように配線してください

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。



コード類を決して途中で切断しないでください

コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

付属品

<p>①本体</p> 	<p>②リアカメラ</p>  <p>または</p>  <p>車外・車内設置用リアカメラ MDR-G013A</p> <p>車内設置用リアカメラ MDR-G013B</p>
<p>③取付ゴム</p> 	<p>④シガーアダプター</p> 
<p>⑤リアカメラ接続ケーブル</p> 	<p>⑥クリーナー</p> 

作業の進め方

1. 同梱物を確認する(→付属品)
2. 動作確認を行う(→本体の操作確認)
3. ミラー本体をセットアップする(→取付方法)
4. ミラー本体を車両に取り付ける(→取付方法)
5. リアカメラを車両に取り付ける(→カメラの設置)
6. シガーアダプターを接続して電源を入れる
7. カメラ角度を微調整する(→カメラの設置)

本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するかを確認ください。

1. 本体にシガーアダプター、リアカメラを接続する。
2. シガーアダプターをシガーソケットに接続する。
3. microSDカードを装着する。※1、※2
4. 本体を動作確認する(リアカメラ、録画) ※3
5. 電源OFFする。シガーアダプターを外し、本取付を行う。

※1. microSDはClass10以上、8~128GBまでのカードをご利用ください。

※2. SDカードは本体からフォーマットを行ってください。

※3. 録画中は設定操作できません。録画停止してから設定を行ってください。

本体の取付

本体を取り付ける前に仮配線して動作確認してください。

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

1 本体裏面



2 取付ゴムを取り付け固定具の上側に引っ掛けます。



※写真は汎用品です

本体の取付

- 3 純正ミラーを挟み込んで、取付ゴムを取り付け固定具の下側に引っ掛けます。

※取り付けの際、本体をしっかり支えながら取り付けてください。

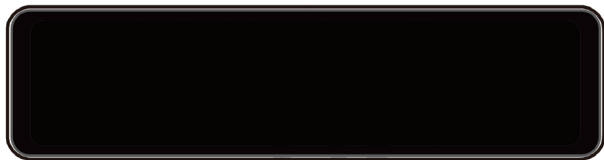


- 4 もう一方の取り付け固定具にも取付ゴムを設置し、本体の位置を調整します。
※取り付けの際、本体をしっかり支えながら取り付けてください。



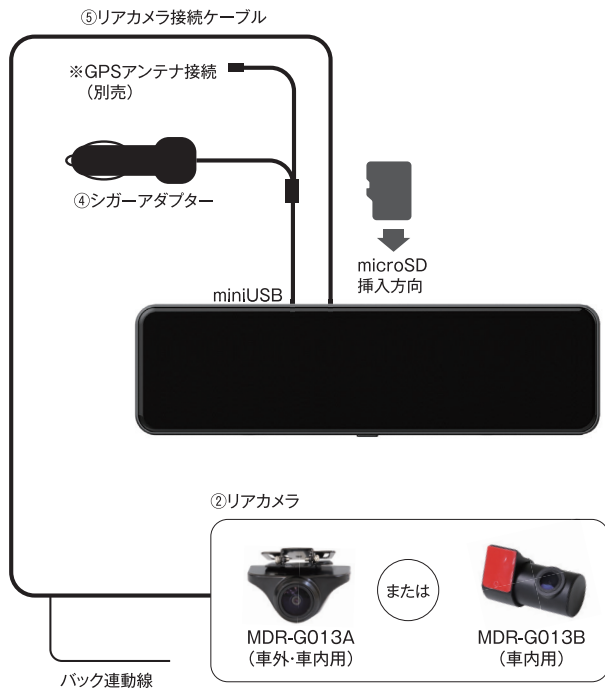
※写真は汎用品です

- 5 画面を見ながら本体の向きを調整します。



- 6 本体が確実に装着されていることを確認のうえ、使用してください。

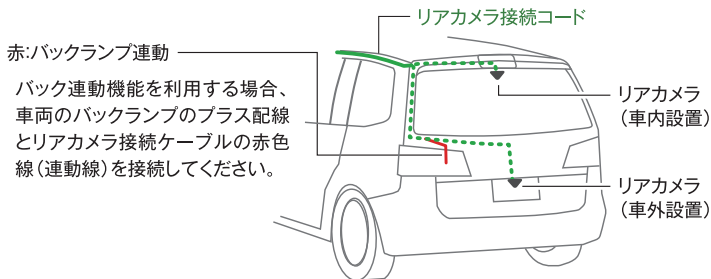
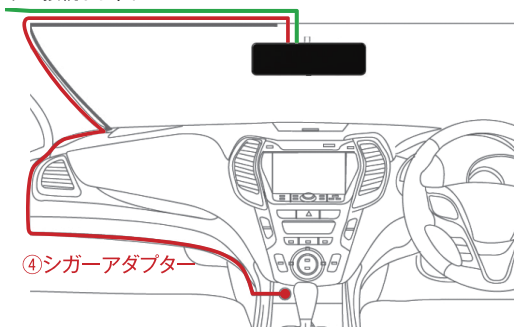
配線イメージ



配線方法

- 1 天井裏やピラー内部を這わせてケーブルを通します。
④シガーアダプターはシガーソケットに接続します。

- 2 同様にリアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通り、リアカメラに接続します。



※バック連動線は適度な長さにカットしての使用も可能です。

※24V車の場合は連動線先にDC・DC (24V→12V) コンバーターをご使用ください。

※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

リアカメラの設置例

車外設置用リアカメラの場合 ※MDR-G013A

ナンバープレート上部に両面テープで設置します。※ネジで固定することもできます。

●取付例



※ステーを付け替えることで
車内設置にも対応します。



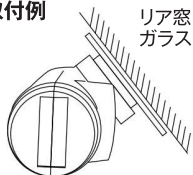
車内設置用リアカメラの場合 ※MDR-G013B

リア窓ガラス内側に両面テープで貼り付けます。

※車内設置用リアカメラは防水対応ではありません。
窓ガラスの内側に貼り付けてください。



●取付例



取付時のご注意

1. 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
2. ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
3. 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
4. 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
5. 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
6. 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
7. 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
8. 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
9. 本製品を動作するには定格DC12/24Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
10. 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
11. リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。
12. 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
13. シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本体故障の原因になることがあります。

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

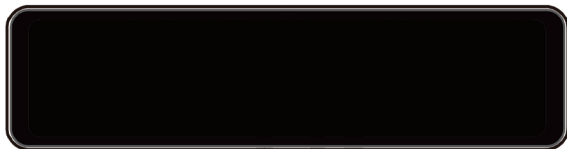
※本書の著作権は昌騰有限会社に帰属します。無断複製、引用は固く禁じます。

ドライブレコーダー機能付

11.26インチ デジタルルームミラー 【取扱説明書】

MDR-G013A / MDR-G013B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますので
あらかじめご了承ください。

● ホームページから最新版の取扱説明書をダウンロードいただけます。

<https://maxwin.jp/datadownload/manual/>

本書の著作権は昌騰有限会社に帰属します。無断複製、引用は固く禁じます。

目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■本体各部名称	7
■microSDカードの挿入・取り出し	8
■電源のON/OFF	9
■メニュー画面	10
■タッチスクリーン機能	11
■カメラ表示切替	12
■各種設定	13
■録画モード	15
■駐車監視録画	16
■バック連動	18
■再生画面	19
■専用ビューアソフトについて	20
■ファイル名称	21
■よくある質問	22
■製品仕様	23
■ファームウェアについて.....	24

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとリアカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知、駐車監視)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

■LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【microSDカードについて】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

※仕様変更などにより本書の内容と本機が一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12/24Vマイナスアース車専用です。(リバース連動線12V対応のみ) 12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。上記以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

■接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。

ショートにより、火災、感電の原因となります。

■コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

■付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。

増設シガーソケットに接続する場合は、シガーソケットの容量オーバーにならないようにご注意ください。容量がオーバーすると、発火や故障の原因となります。

注意

■本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。

■車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。

■本機を車載用以外には使用しないでください。

感電や怪我の原因となることがあります。

■本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。

■本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。

火災、故障のおそれがあります。

■夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。

直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。

■microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。

けがの原因となることがあります。

■フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。

本機がはずれるおそれがあります。

(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)

■クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。

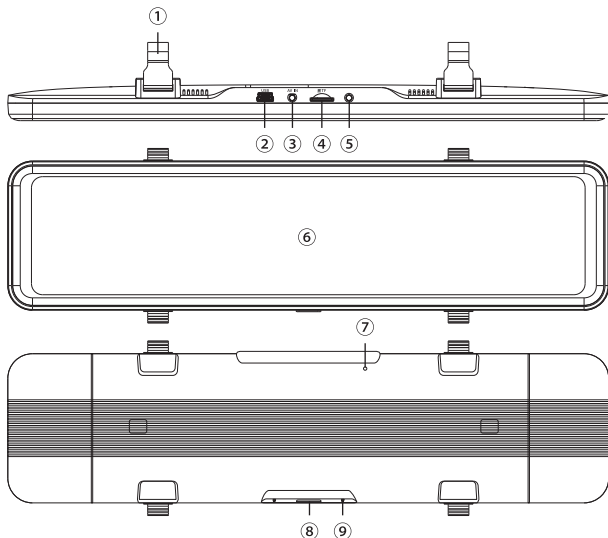
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードを使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあてないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



NO.	名称	働き
①	取付ゴム固定具	取付ゴムを引っ掛けて本体を固定します
②	miniUSBコネクタ	本機電源入力端子 (DC5V)
③	2.5mmコネクタ	リアカメラ映像信号入力端子
④	microSDスロット	micro SDカードを挿入します (最大128GB (Class10かつFAT32) まで対応)
⑤	3.5mmコネクタ	使用しません
⑥	液晶モニター	10.88インチミラー型タッチパネルIPS液晶(静電式)
⑦	リセットボタン	本体がリセットされます。※
⑧	電源ボタン	長押しで電源をON/OFFします
⑨	マイク	録音用マイク

※本体が正しく動作しなくなった時にリセットしてください。強制的に再起動します。

microSDカードの挿入・取り出し

■カードを挿入する

本体上部microSDスロットにmicroSDカードを挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



■カードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを押して、カードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、128GBまでのものをご利用ください。

※microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動(ACCをON)すると自動的に起動します。
起動と同時にリアカメラで録画を開始します。



■電源のOFF

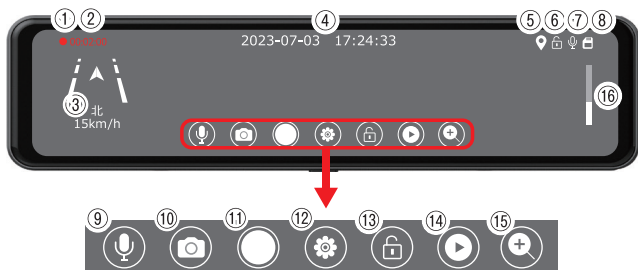
車両のエンジンを停止(ACCをOFF)すると、自動的に停止します。
また電源ボタン長押しでON/OFF切替もできます。



電源ボタン

メニュー画面

画面をタッチするとメニューが表示されます。



- ① 録画中マーク…録画を開始すると、アイコンが表示されます。
- ② 録画時間…録画を開始すると、録画時間が表示されます。
- ③ GPS方位表示…GPS測位すると、走行中に方位と速度が表示されます。※1
- ④ 日時表示…現在の日時が表示されます。
- ⑤ GPSアイコン…GPS感知状態が表示されます。※1
- ⑥ ロックアイコン…現在の録画保護の状態が表示されます。
- ⑦ 録音アイコン…音声録音の状態が表示されます。
- ⑧ SDカード挿入アイコン…microSDカードの状態が表示されます。
- ⑨ 録音ボタン…タッチすると録音を停止/開始します。
- ⑩ 静止画ボタン…タッチすると、静止画を撮影します。
- ⑪ 録画ボタン…タッチすると、録画を開始/停止します。
- ⑫ 設定ボタン…タッチすると、各種設定画面に移動します。
- ⑬ ロックボタン…タッチすると、現在の録画を保護します。
- ⑭ 再生ボタン…タッチすると、再生画面に移動します。
- ⑮ 拡大縮小アイコン…タッチすると、設定したリアカメラの倍率に切り替わります。
- ⑯ 画面輝度調整…画面をスライドすると画面の輝度が切り替わります。

※1…GPSアンテナ(別売)接続時のみ表示

タッチスクリーン機能

■アンゲル調整

カメラ表示モード中に画面をタッチし上下にスライドすると、カメラ表示アンゲルも上下に動かすことができます。



■明るさ調整

赤枠で示す範囲内の画面をタッチして“明るさ調整”画面を表示させます。
“明るさ調整”画面をタッチし左右にスライドすると明るさを調整できます。



カメラ表示切替

■カメラ表示OFF

電源ボタン短押しでカメラ表示がOFFになり、通常のみラーとしてご使用いただけます。
再度電源ボタンを短押しまたは画面タッチでデジタルミラーに戻ります。



各種設定

メニュー画面で設定ボタンをタッチして各項目を設定します。



- ①《ループ録画》ループ録画の時間を設定します。(1分/2分/3分)
- ②《Gセンサー感度》Gセンサー(衝撃感知)を設定します。(オフ/低/中/高)
- ③《パーキングモード》駐車監視録画のGセンサー(衝撃感知)を設定します。
(オフ/低/中/高)
- ④《タイムラプス》タイムラプスの時間を設定します。
(オフ/0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間)
- ⑤《ズーム表示》リアカメラのズーム表示の設定をします。(＋1段階～＋15段階)
- ⑥《言語》メニューや警告などの表示言語を選択できます。
(日本語/英語/韓国語/中国語(繁体・簡体))
- ⑦《ミラー設定》リアカメラの鏡像・正像の切替をします。
初期設定ではリア鏡像となっています。
- ⑧《スクリーンセーバー》一定時間経過すると画面表示を消します。(オフ/1分/3分)
- ⑨《音量》本体スピーカーの音量を調整します。(消音～10段階)
- ⑩《GPS》GPSアンテナの受信状態を確認できます。
タイムゾーン(※GMT+09:00(初期設定))、速度単位(KM/H・MP/H)
速度計校正(－6KM/H～6KM/H)、ステータス表示
- ⑪《日時設定》日時を設定します。
- ⑫《SDフォーマット》microSDカードをフォーマットします。
- ⑬《設定初期化》設定を工場出荷状態に戻します。
- ⑭《バージョン》ファームウェアのバージョンを表示します。

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

設定により、1分/2分/3分と録画時間を設定できます。

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定】



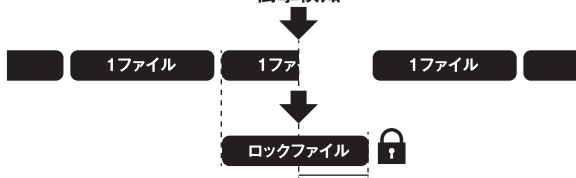
■衝撃録画

Gセンサーが衝撃を検知すると、衝撃を検知した時点の録画をロックフォルダに保存します。

衝撃録画中は録画中マークが黄に点滅します。



衝撃検知



衝撃録画が終了すると、通常録画に戻ります。

※ロックされたファイルは上書きされません。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

駐車監視録画

■3芯電源ケーブル(別売)接続時には以下の設定項目が使用可能となります。

- タイムラプス ……………タイムラプス録画を実行する時間(オフ/0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間)を設定します。
- パーキングモード ……………衝撃検知のオフ/低/中/高(検知感度)を設定します。

パーキングモードを行うには、設定メニューの「パーキングモード」を低/中/高のいずれかに設定してください。

■パーキングモード(衝撃検知)

車両のエンジンを停止(ACCオフ)すると、約5秒後に本体の電源がオフになります。本体の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になります。本体に搭載されたGセンサーが衝撃を検知すると、自動的に約15秒間の緊急録画を行い、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本体の電源がオンになり、常時録画が開始されます。



ご注意

- ドアを締めたときの衝撃を検知して、パーキングモードが動作することがあります。
- リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。
- 「パーキングモード」と「タイムラプス」はどちらか1つを選択してお使いください。両方ご使用するの場合は、「タイムラプス」が優先して動作します。

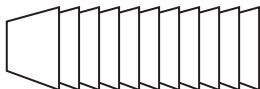
駐車監視録画

■タイムラプス録画

1秒間のフレーム数(撮影枚数)を少なくして映像を記録する機能で、通常の録画より使用するメモリー容量を抑えることができるので駐車監視時に最適です。

また短い動画に圧縮して保存することでバッテリー使用容量を抑え、長時間の録画が可能になります。

(例) 通常録画



1秒間に27.5枚撮影
(27.5fps)

タイムラプス録画



1秒間に1枚撮影
(1fps)

■各種設定

《タイムラプス録画》…オフ/0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間

《パーキングモード》…オフ/低/中/高

バック連動

バック連動線を接続している場合、バックギア入力時にバック補助線が表示されます。

リアカメラ映像

通常時



バックギア入力時

■バック連動画面のアンクル調整

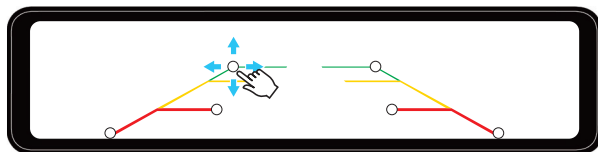
初期設定では、バック連動時にバック画面のアンクルは一番下に向いています。

バックのアンクル角度も手動で調整可能です。

調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。

調整方法:

ガイドライン調整機能に下図のようにタッチ操作でアンクルの調整ができます。ご使用の車両や環境に合わせてアンクル調整してください。



- ①【○】のエリアを上下スライドで赤色線の上下位置の調整・左右スライドで横線の長さを調整

※ガイド線、アンクルを調整するときは安全な場所に停車してください。

※左右の線は連動していません。個別に調整してください。

再生画面

再生ボタンを押すと、再生画面リストを表示します。



録画したファイルの再生や削除の操作ができます。



- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| ① 選択ファイルのファイル名 | ⑧ 前のファイル一覧へ移動 | ⑮ 選択ファイルの録画日時 |
| ② 動画・静止画切替 | ⑨ サムネイル画像 | ⑯ ファイル一覧のページ数 |
| ③ 標準・全画面表示切替 | ⑩ 次のファイル一覧へ移動 | ⑰ 選択ファイルの録画時間 |
| ④ 常時録画動画 | ⑪ ファイルを保護 | |
| ⑤ イベント録画動画 | ⑫ ファイルの保護を解除 | |
| ⑥ 録画カメラ | ⑬ ファイルを削除 | |
| ⑦ 戻る | ⑭ ファイルの全削除 | |

■ ファイルを再生する

ファイルリストより再生したい動画・静止画を選択します。
再生/一時停止を押して再生します。

■ ファイルの削除

ファイルリストの削除したい動画・静止画ファイルを選択して、⑬もしくは⑭を押して削除します。

専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページのソフトウェアページからダウンロードします。

[Windows] <https://maxwin.jp/download/103083/>

[MAC] <https://maxwin.jp/download/103094/>

※ビューア画面のデザイン等は変更する場合があります。

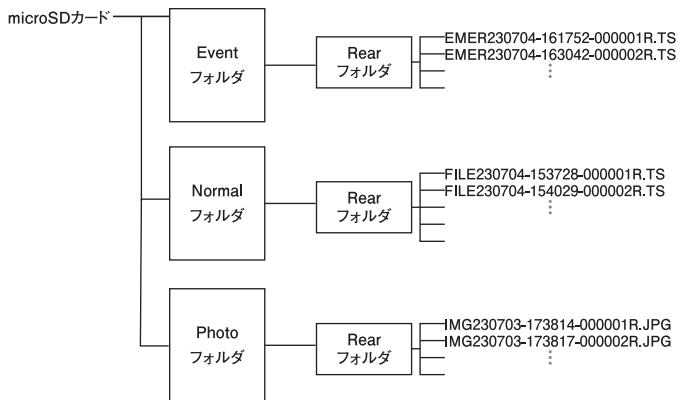
※ビューアのインストール/操作等はパソコンの基本的な知識が必要となります。

(パソコン操作等のお問い合わせは、お受けできません。)

ファイル名称

フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



記録される静止画ファイルは下記のファイル名で保存されます。

IMG230703-173814-XXXXXXR.JPG

IMG西暦年、月、日 - 時、分、秒-XXXXXXR.JPG

記録される常時録画ファイルは下記のファイル名で保存されます。

FILE230704-142316-XXXXXXR.TS

FILE西暦年、月、日 - 時、分、秒-XXXXXXR.TS

記録される緊急録画ファイルは下記のファイル名で保存されます。

EMER230704-161752-XXXXXXR.TS

EMER西暦年、月、日 - 時、分、秒-XXXXXXR.TS

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	日時表示は設定画面より手動で設定してください。 期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。
ディスプレイに操作ボタンが表示されない	起動後、しばらく画面操作をしないと自動的に表示が消えます。 画面をタッチしてください。

製品仕様

モニター	10.88インチカラー液晶(解像度:1920×480)
録画解像度	1080P@27.5fps
録画モード	ループ録画
動画ファイル形式	TS
メモリーカード	microSDカード (class10以上 8GB~128GBまで対応)
Gセンサー	3軸加速度センサー
電源	12V/24V(DC5V、2.5A)
動作温度範囲	-10℃~+60℃

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://maxwin.jp/>

MAXWIN